

本研修会は、平成 26 年 2 月 1 日～2 日に熊本県の熊本機能病院を会場に開催されました。障がい者スポーツ指導者が、その資質向上及び情報交換により、緊密な連携を図る事で、障がい者スポーツ、レクリエーションの振興・発展に貢献することを目的として行われました。



障がい者スポーツ指導者協議会九州ブロックの各専門部会の活動報告では、それぞれの部会の活動、実施事業の内容や、今後の方針の具体的な報告がありました。九州ブロックとしての取り組みを把握し、各構成員の連携を図る上で重要になる内容でした。

ダブル講演として、土田和歌子選手（車椅子マラソン）と、浦田理恵選手（ゴールボール）の講演がありました。ご自身の生き立ちや、アスリートとして活躍するに至った経緯などを話されていました。その中で、スポーツを始めるきっかけや、選手として成長する過程の中で影響を与える人や言葉との出会いの話は、障がいのある方との関わり方について重要な示唆を得ることができ、会場からは大きな拍手が巻き起こっていました。



特別講演として、日本パラリンピック委員会事務局の中森邦夫氏より「日本障がい者スポーツの将来像（ビジョン）」について説明がありました。講演では策定の背景、ビジョンを実現するためのJSAD/JPCの取り組みの紹介がありました。スポーツ指導者として、また社会の構成員としてビジョンの実現に貢献できることを考える上でも大変興味深い内容でした。

二日目は実技研修として各会場に分かれ、体幹（姿勢）を創るトレーニングや、太極柔力球、車椅子バスケットボールを実際に体験しました。未経験の競技もあり、参加者は興味津々で取り組んでいました。普段からの生活で取り入れられるものや、スポーツ指導者としての活動に活かせる内容があり、それぞれに新たな発見があるようでした。

非常に有意義だった二日間の本研修での学びを、今後の地元での活動に活かしていきたいと考えます。

